

研究発表(ポスター発表)

12月7日(日) 13:30~15:00

会場①2-308(第3演習室)

注) ◎: 座長・研究発表会場責任者

- ◎P-01 福祉心理学にとって援助とは何か
—臨床心理学、社会福祉学の援助概念との相違について—
○平野信喜 (宇部フロンティア大学)
- ◎P-02 いじめを受けた生徒に教師が寄り添うために
○杉山雅宏 (東北薬科大学)
- P-03 災害時における相談支援専門員の役割評価構造
—評価構造図による視覚化を通じた要求の網羅的把握—
○佐藤匡仁 (岩手県立大学)
- P-04 文教ペンギンメソッドによる子育て支援
○川端愛子・齋藤修子・平井梓・後藤 守 (北海道文教大学)・
後藤広太郎 (東京農業大学教職課程)
- P-05 児童発達支援事業の職員の専門性向上に関する研究
—連携と協働の役割と課題—
○有村玲香 (鹿児島純心女子大学)
- P-06 いじめ支援の課題—文献レビューによる—考察—
○渡部夏奈・高品柊野・阿部志織・青木裕貴・市原祐美・中里裕輝・
野邊 徹・安齋雅貴・川俣将成・中村恵介・佐藤 貴・米川和雄
(帝京平成大学 NPO 法人エンパワーメント)
- P-07 ホームレス支援におけるWA I Sの利用—自立支援ホームでの取り組み—
○坂本佳代子 (坂本福祉相談事務所・聖学院大学)
- P-08 裁判を繰り返す自己愛性人格障害の一事例
○一山幸子 (西日本短期大学)
- P-09 保健医療福祉の現場における専門職連携教育実習の意義と課題
—参加学生のレポートの質的分析—
○大部令絵 (埼玉県立大学保健医療福祉部)

会場②2-309(ゼミ室2)

- ◎P-10 児童養護施設における生活場面面接に関する理論と技法
—Child care checklist for children's homes ; CCL) の活用—
○大原天青 (会津大学短期大学)
- P-11 児童養護施設年長児童に対するキャリア・カウンセリング・プログラムの開発
○井手智博 (静岡大学)
- P-12 児童養護施設における効率的なケース会議の促進
—成長評価ツールおよび会議進行チャートの導入—
○佐々木銀河 (筑波大学大学院)・野呂文行 (筑波大学人間系)
- P-13 児童養護施設入所児童の発育に関する研究Ⅲ
—入所時・入所後の身長発育の変化からの考察—
○戸松玲子(大阪青山大学)・稲垣由子 (甲南女子大学)

会場③2-310(ゼミ室3)

- ◎P-14 保育士の「子ども虐待」に対する意識および実態に関する調査研究
—虐待につながる保護者とのかかわりについて—
○永田恵実子 (静岡英和学院大学)
- P-15 “パソコン・コラージュプレイ”Ⅳ 福祉施設における情動を育む試み
○南部眞理子・船曳倍子・梅林厚子 (神戸芸術工科大学)
- P-16 自宅にひきこもり、家族への他害行為のある青年期の事例
○本田 央 (社会福祉法人筑紫会)・野口幸弘 (西南学院大学)

会場④2-311(ゼミ室4)

- ◎P-17 乳児院における生活臨床と心理的ケアに関する研究
○大迫秀樹 (九州女子大学)
- P-18 行動障害のある自閉症青年に対する作業従事行動の形成
—支援スタッフへのコンサルテーションを通して—
○高階美和・平田雄一 (町田福祉園)

- P-19 施設に入所する様々な問題行動を抱える自閉症者への継続的な支援
—応用行動分析と積極的行動支援に基づいた介入—
○志保石裕之・角田博文（茨城県立あすなろの郷）・村本浄司（東京福祉大学）
- P-20 社会的養護における知的障がい児への生活支援と心理的ケア
—生活環境との関連について—
○山崎康一郎（大阪人間科学大学）

会場⑤2-312(ゼミ室5)

- ◎P-21 障害者を表す語のイメージに関する基礎研究2
○豊村和真（北星学園大学）
- P-22 突然障がい者になった子どもの母親であること
—複線経路・等至性モデルによる検討—
○成田小百合（新島学園短期大学）
- P-23 精神障害者グループホームを利用する知的能力障害者に対する実践報告
—障害特性の相異が与える集団力動に注目して—
○川地翼人・勝野米子（あいせい紀年病院）

会場⑥2-313(ゼミ室6)

- ◎P-24 認知症高齢者の睡眠障害—高齢者グループホームの取り組み—
○城戸由香里（久留米大学大学院心理学研究科）
- P-25 発達障がいを抱える人たちとの交流の手立てを掴む—受容と交流の実践—
○川相豊子（地域生活支援センター たのしみ）
- P-26 後期高齢者の自伝的記憶におけるバンプの記憶の特徴
—中年者および前期高齢者との比較—
○田中京子（久留米大学心理学研究科）・稲谷ふみ枝（久留米大学）
- P-27 教職志望学生から見た「学級崩壊」のイメージ
○後藤広太郎（東京農業大学教職課程）・
川端愛子・後藤 守（北海道文教大学人間科学部）